

平成21年度



但馬産業大賞



平成22年3月

応募期間／平成21年9月15日から10月15日まで

審査委員会／平成22年1月12日

表彰式／平成22年2月17日

ごあいさつ



但馬県民局長
谷口 進一

但馬地域は、海・山・川など豊かな自然や歴史・風土に育まれた地域であり、地場産業や観光など各種の産業が発展を支えてきました。

近年では、放鳥コウノトリをシンボルとした交流の促進や山陰海岸の世界ジオパークネットワークへの登録実現に向けた取り組みなど、自然と共生する地域づくりやツーリズムが展開されております。

さらには、高度な技術力に支えられた、金属加工やIT産業、エネルギー関連など多彩な産業も根付いています。

こうした、幅広い産業の中でも技術力やアイデア等で県下はもとより全国に、さらには海外でもシェアを伸ばされている事業者が数多くあります。このような事業者の皆様方を顕彰させていただき、その存在を広くアピールするために、平成19年度に「但馬産業大賞」を創設させていただきました。

世界的な景気低迷により、但馬の産業界も大きな影響を受けております。当県民局におきましては、但馬地域の情勢に応じたきめ細かな施策を講じることにより、経済・雇用への悪影響を最小限に止め、県民生活の安定確保に努めているところです。

また、私たちは「夢テーブル委員会」からのご提案を受け、平成6年度に開催されました「但馬・理想の都の祭典」から20年目を迎える平成26年度を目標に、「但馬ならではの」の様々な取り組みを集約し、但馬が一丸となった情報発信、さらには大きなムーブメントを起こし、次代への夢と希望を紡ぐ運動をスタートさせます。

今回受賞いただく皆様が、この動きとも連携し、さらに地域経済や他地域との交流を力強く牽引していただくことを願っております。

さて、今年度も厳正な審査の結果、6事業者の方々に受賞していただくことになりました。皆様は地域の誇りです。この誇りこそが将来への「夢と希望」につながります。心からお喜び申し上げますとともに、今後とも産業活性化のためますますご活躍いただきますよう期待しております。

講 評



審査副委員長
椿野 晴繁
(県立但馬技術大学校長)

本年度も、各市町や産業団体等のご推薦をいただきました。8の企業・団体等の中から、但馬県民局長を含め6名の審査委員による厳正なる審査の結果、6事業者の方が受賞されました。

審査は独創的なこと、技術・手法が素晴らしいこと、地域への貢献度等色々な面から審査させていただきました。

まず、「キラリと世界へ輝く技術部門」ですが、各社とも素晴らしい技術や製品を開発されています。

富士発條(株)様は、バネ製造の基礎技術をベースに、2次電池部品市場において多くの納入実績があります。世界で初めて携帯電話用リチウムイオン電池部品において、1998年、2000年及び2004年にそれぞれ量産化に成功され、ピーク時には世界シェアの20%を獲得されています。

(株)東豊精工様は、線径0.02mm、外径0.085mmと、髪の毛の太さに匹敵する世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発とその量産化に成功され、電子機器やその技術の応用であるカテーテルなどの医療機器の精密化、小型化、高信頼性の実現に貢献されています。

香住鶴(株)様の清酒は伝統的な酒母造りにこだわり、但馬を代表する地酒として人気が高く、平成17年から海外販売を展開されています。アメリカにおいて、インターネットや雑誌などで紹介され、有名レストランでも取り扱われています。

次に、「観光・交流資源を活かしたツーリズム部門」ですが、NPO法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村様はハチ高原・氷ノ山周辺で四季を通じ、青少年やその家族・要介護者に対して、自然体験活動の企画・運営・指導に関する事業を行われるとともに、指導者育成のための講習会にも力を注がれるなど、青少年の健全育成に貢献されています。

香美町村岡観光協会様は、村岡地域やその周辺地域の観光PRに努力され、ツーリズム人口の増加に取り組まれています。ガイド養成にも力を注ぎ、ひょうご名物ガイドも輩出されるなど、猿尾滝を訪れる観光客は毎年増加しています。

生活工房香味煙井上利夫様は、化学合成された添加物を使わずに、「無添加ハム」にこだわり、植物自体がもつ保存成分を研究し、殺菌・発色・保存等に効果をあげておられます。現在、商品名「カクカク鹿じかロックンロール」も売り出し中です。

以上、簡単に紹介させていただきましたが、但馬内には、こんなに素晴らしい企業等が沢山あることを実感いたしました。皆様が、今回の受賞をきっかけに、ますます研鑽を重ね、さらなる飛躍を遂げられるよう祈念いたしまして、講評とさせていただきます。

但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名	
富士発條株式会社	世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造
株式会社東豊精工	電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化
香住鶴株式会社	伝統的な酒母造り(生酴・山麩酴)にこだわり世界に通用する味を追求

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名	
NPO 法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村	自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進
香美町村岡観光協会	ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム
生活工房香味煙 井上利夫	燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

但馬産業大賞審査委員会委員名簿

機関名	役職	氏名	備考
県立工業技術センター	所長	北村 新三	委員長
県立但馬技術大学校	大学校長	椿野 晴繁	副委員長
(社)ひょうごツーリズム協会	専務理事	大西 信行	
(財)但馬ふるさとづくり協会	事務局長	井垣 文博	
兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター	所長	佐々木 孝	
兵庫県但馬県民局	局長	谷口 進一	

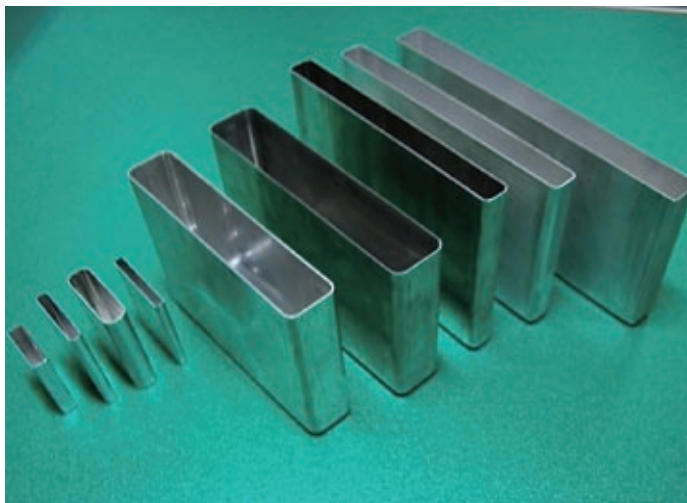


富士発條株式会社

世界最先端分野の超精密金属部品の研究・開発・製造

バネ製造の基礎技術をベースに、早くから金型の内製化はもとより、Niメッキ処理に至るまでの一貫生産を行って、2次電池部品市場において多くの納入実績を誇り、数々の世界シェアを獲得するまでに至っている。

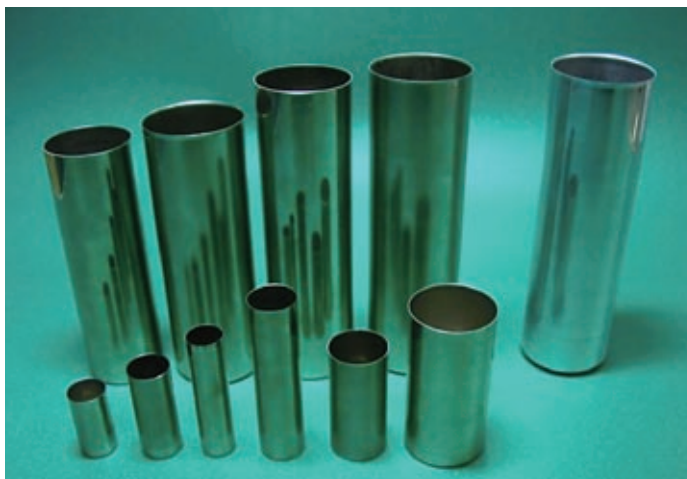
同社は、完全内製化された金型技術をコア技術として、世界で初めて携帯電話用リチウムイオン電池部品において量産化に成功し、ピーク時には、世界シェアの20%をクリアした。



アルミ角型電池ケース



金型製作風景



円筒電池ケース

会社沿革

- 昭和34年 富士発條製作所として創業(和田山町柳原)
- 昭和35年 富士発條株式会社に改組
- 平成14年 本社移転(和田山工業団地/筒江)
- 平成17年 第2工場(筒江)取得
旧本社工場(平野)から第2工場へ全面移転
- 平成19年 第1工場(寺谷)を売却、第2工場へ移転
- 平成20年 第3工場(野村)からアルミケース製造拠点を移転
- 平成22年 創立50周年

会社住所

兵庫県朝来市和田山町筒江165番-51
 TEL 079-674-1600
 FAX 079-674-1601



株式会社東豊精工

電子部品・医療機器向け世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発と量産化

スプリング材料の線径0.02mm、外径0.085mmと、髪の毛の太さに匹敵する世界最小クラスのマイクロスプリングの設計・開発とその量産化に成功し、電子機器やその技術の応用であるカテーテルなどの医療機器の精密化、小型化、高信頼性の実現に貢献している。

同社は、マイクロスプリングの製造だけでなく、独自のソフトウェアを駆使して、設計から対応できるという独自性を有している。



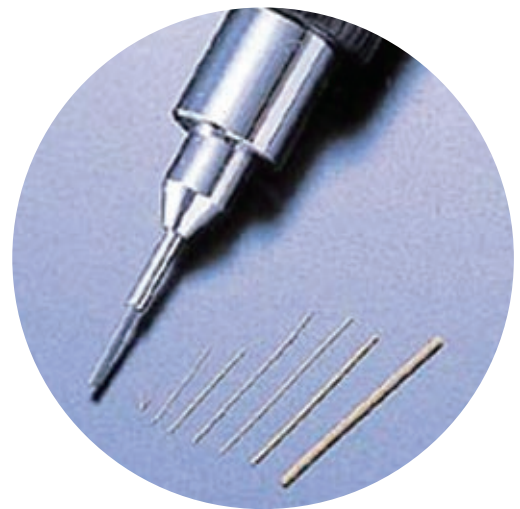
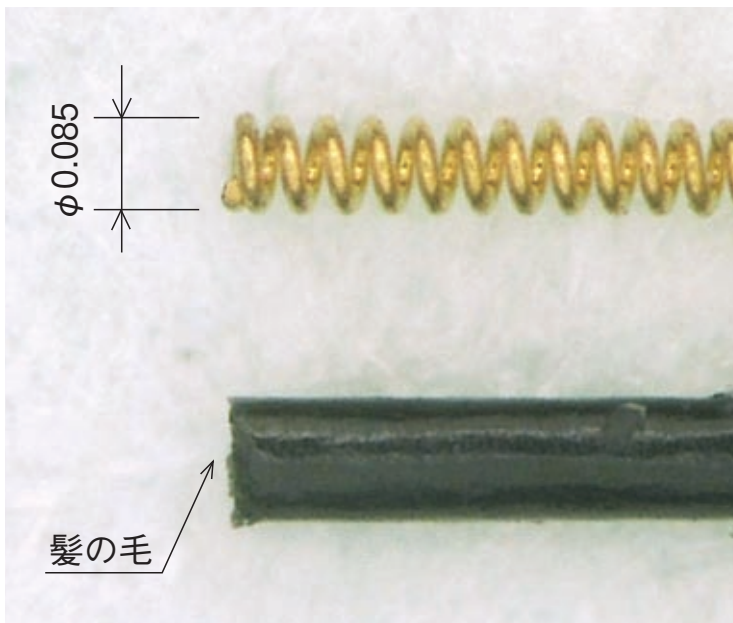
中国・深圳工場



中国・上海工場



日本・本社工場



会社沿革

- 昭和32年12月 豊岡市にて創業
- 昭和40年 7月 株式会社東豊精工設立
- 昭和49年 8月 トーションマシンを自社開発
- 昭和55年11月 豊岡市下陰に本社工場を建設
- 平成 3年 4月 香港に東豊精工技術有限公司を設立
- 平成 3年 9月 中国深圳市に東豊精工技術(深圳)有限公司を設立
- 平成15年 4月 上海市に東豊精工精密弹簧(上海)有限公司を設立
- 平成15年 8月 ISO9001・ISO1401同時認証取得

会社住所

兵庫県豊岡市下陰404-1番地
 TEL 0796-22-0782
 FAX 0796-24-0070
 Eメールアドレス/info@tohoseiko.co.jp
 HP/http://www.tohoseiko.co.jp



香住鶴株式会社

伝統的な酒母造り(生酏・山麩酏)にこだわり世界に通用する味を追求

香住鶴(株)の清酒は、但馬を代表する地酒として人気が高く、平成17年から海外販売を展開している。同社の清酒はアメリカにおいて、インターネットや雑誌などで紹介され、有名レストランでも取り扱われている。

江戸時代から伝わる日本酒の伝統的製造法「生酏造り」にこだわり、独特の風味を造り上げている。但馬の中で海外でも通用する清酒として、「香住鶴」ブランドのイメージアップを図っている。



会社沿革

享保10年(1725年) 創業
 昭和20年 会社設立
 平成13年 香住鶴株式会社に組織変更
 平成15年 現在地(小原)に社屋新築、全面移転
 平成19年 リキュール製造免許取得

会社住所

兵庫県美方郡香美町香住区小原600番地の2
 TEL 0796-36-0029
 FAX 0796-36-3273

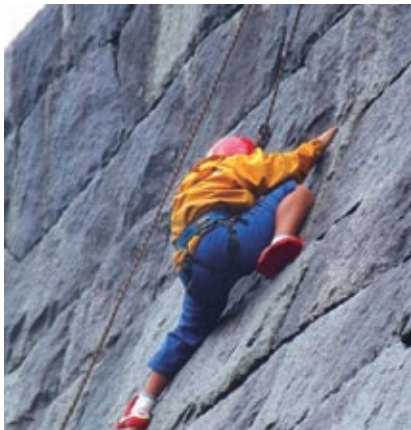


NPO法人ハチ高原・氷ノ山自然体験村

自然体験活動で、生きる力と夢を育む力の増進

青少年及び家族・要介護者に対して、ハチ高原・氷ノ山周辺で四季を通じ自然体験活動の企画・運営・指導に関する事業を行い、ハチ高原・氷ノ山周辺の自然を通して、青少年及び家族・要介護者に生きる力・夢を育み、環境・福祉の増進に貢献している。

30泊31日間など長期間親から離れ、少し過酷なプログラムも取り入れた体験プログラム等を考案実施している。



活動概要

- 幼児期からの環境教育
「森のムツレ教室リーダー養成講座inハチ高原」
- 公認パラグライダーA級講習検定会
- この夏、真剣勝負 「ハチ高原子ども長期自然体験村(14泊15日)」
- クロスカントリー&スノーシューウォークinハチ高原
- ハンディキャップスキー指導法講習検定会
- ちょっとだけ冒険してみよう!「ハチ高原スプリングキャンプ」
- サマーキャンプinひょうご2007(30泊31日)

住所

兵庫県養父市丹戸909番地1
TEL 079-667-7111
FAX 079-667-7114



香美町村岡観光協会

ひょうご名物ガイドも輩出した、真心を込めたおもてなしのツーリズム

平成13年10月、国道9号線沿いに案内所設立以来、案内事業に力を注ぎ、村岡地域はもとより但馬地域及び周辺地域の観光PRに努力し、ツーリズム人口の増加に取り組んでいる。

平成14年からガイド養成に努め、研修を重ねて観光ガイドが地域のよさを訪れた人達にPRしている。

観光客には再度の来訪に繋げたいとの願いから、真心を持って親切丁寧なおもてなしを心がけている。



活動概要

- 観光宣伝と広告宣伝事業
- 観光客誘致事業
- 香美町観光案内所
- 都市との交流促進事業
- 宣伝・誘客並びに特産品の販売開拓
- 調査研究
- 観光ガイド活動
- 観光教育活動

住所

兵庫県美方郡香美町村岡区大糠9-1
TEL 0796-94-0123
FAX 0796-94-0331



生活工房 香味煙 井上 利夫

燻製独特の色と香りにこだわった自然派無添加の手作りハムの製造

化学合成された添加物を使わずに、食の安全・人の健康等の観点から「無添加ハム」にこだわり、山野草などに含まれる植物自体がもつ保存成分を研究し、殺菌・発色・保存等に効果を見いだしている。

また、猪・鹿等野獣のもつ「臭み」の解消にも長年の研究を費やし、現在、商品名「カクカク鹿じかロックンロール」も売り出し中であり、社会的問題でもある鳥獣被害対策の面からも地域に貢献している。



煙の魔術師「猪熊燻太郎」と称して新聞連載記事も執筆し、紙芝居で民話の講演をしたりと、青少年の健全育成にも貢献している。



沿革

昭和62年 開業

住所

兵庫県美方郡香美町村岡区福岡422番地
TEL 0796-96-0069
FAX 0796-96-1477

平成 19 年度 但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名	
株式会社 ビトーアールアンドディー	レース用オートバイホイール(鍛造マグネシウム製)の開発、製造、販売
マルヨ食品 株式会社	但馬を代表する水産物ホタルイカの醤油漬けを開発
中田工芸 株式会社	高級衣料品店等で使用される木製ハンガーの製造、販売

区分 人と自然の共生する事業部門

受賞者名	
有限会社 夢大地	環境創造型・雇用型農業として、未来を展望したモデル農場

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名	
但東町花卉球根園芸組合	特産品を活用したチューリップまつりの開催で地域を活性化
農家民宿「八平だるま」能勢 勇	グリーンツーリズム特区制度を活用した農家民宿の経営
たけの観光協会	愛犬専用ビーチの開設による新たな観光需要の開拓
浜坂観光協会	歴史、文化、産業等の知識を持つカニ専門家「カニソムリエ」の養成

平成 20 年度 但馬産業大賞受賞者名簿

区分 キラリと世界へ輝く技術部門

受賞者名	
日本精機宝石工業株式会社	工業用ダイヤモンドの研磨、焼結技術を独自に開発し、精密工具を製造
但馬ティエスケイ株式会社	冷間鍛造により100mmを超える中空形状に加工できる技術を開発
株式会社 オーク	廃タイヤを利用した振動伝播阻止法(Ti-TAN工法)を開発
株式会社 トキワ	但馬の特産品を活かした調味料やワイン、梅飲料等の製造販売
吉田体機工業株式会社養父工場	競技用体操器具(トランポリン等)の製造・販売

区分 人と自然の共生する事業部門

受賞者名	
有限会社清美社	地域一帯となったリサイクル事業(廃油をバイオディーゼル燃料に活用)
神鍋白炭工房 田沼茂之	白炭製造の省力化・量産化設備の開発

区分 観光・交流資源を活かしたツーリズム部門

受賞者名	
但熊 西垣源正	卵かけごはん専門店「但熊」の運営による地域の活性化
但馬高原植物園	17haの敷地に、1,000種の自生植物を有する植物園
香住観光協会	カニ検定を実施し、「カニの本場カニのまち香住」を全国にPR
湯村温泉若女将会 ゆむらなでしこ	旅館同士連携して、若女将会「ゆむらなでしこ」を結成し観光PR



兵庫県但馬県民局
県民室 商工労政課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 TEL.0796-26-3685

21但馬©2-015A4